

射水市教育委員会 4 月定例会次第

日 時 平成 29 年 4 月 28 日(金)

午後 1 時 30 分

場 所 庁舎会議室 401

1 会議録の承認

2 事務局報告

- (1) 総務文教常任委員会 (4 / 18) の開催状況について 資料 1

3 各課等の報告事項

- (1) 平成 29 年度教育委員会主要事業について 資料 2
- (2) 小・中学校児童生徒 (見込) 数について (学校教育課) 資料 3
- (3) 平成 29 年度射水市教育センター事業計画について (教育センター) 資料 4
- (4) 授業力向上に向けて「射水トライアル 3 点セット」について (勤労センター) 資料 5
- (5) 海竜スポーツランドにおけるトレーニング機器を使用した健康管理
教室等の開設について (生涯学習・スポーツ課) 資料 6
- (6) 教育委員会行事予定 資料 7

4 その他

- ※ 次回教育委員会の開催日時について

月 日 () 時 分 学校訪問 ()

総務文教常任委員会の開催状況について

1 日時等 平成29年4月18日(火)

<市内視察> 午前10時～正午

庁舎屋上(防災行政無線設備等)
作道小学校区放課後児童クラブ室
放生津分団屯所

<委員会> 午後1時～

2 議題

報告事項

- (1) 平成29年度各部・課等の所管事項及び主要事業について
- (2) エリア別指定避難所数(H29.4.1現在)(財務管理部 総務課)
- (3) 電気自動車用急速充電器の整備概要について(財務管理部 管財契約課)
- (4) 小・中学校児童生徒(見込)数について(教育委員会 学校教育課)
- (5) 射水市孫とおでかけ支援事業(教育委員会 生涯学習・スポーツ課)
- (6) 海竜スポーツランドにおけるトレーニング機器を使用した健康管理教室等の開設について(教育委員会 生涯学習・スポーツ課)

質疑(教育委員会関係)

高橋久和委員長

- (1) 小学校英語教科化への対応について
- (2) 放課後児童クラブのあり方について

3 その他

質疑(教育委員会関係)

津田信人委員

- (1) 大島中央公園コミュニティ体育館屋根の修繕について

平成29年度

教育委員会 主要事業一覧表

目 次

学 校 教 育 課	・ ・ ・ ・ 1 頁
生涯学習・スポーツ課	・ ・ ・ ・ 3 頁

学校教育課 主要事業

事業名	予算額 (千円)	摘要 (内容・進捗状況・その他)
学力向上対策事業	12,076	児童・生徒の基礎学力と学習習慣を定着するため、小・中学校で学び応援塾を開催する。また、英語教育の充実を図るためイングリッシュ体験学習事業を実施するほか、電子黒板機能付プロジェクターを全小・中学校に整備する。
不登校児童生徒支援実証事業 (新規)	679	不登校児童生徒に対し、登校刺激の一手段としてICTを活用した実証事業を実施する。
外国人相談員配置事業 (新規)	422	日本語が不自由な外国人児童生徒に対する日本語指導を行うため、外国人相談員を雇用し、どの子どもたちも安心して学ぶことができる環境を整備する。
就学援助費	51,803	経済的な理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、給食費や学用品費などの援助を行う。
豊かな人間関係づくり支援事業	2,884	小・中学校において、豊かな人間づくりを進めるため、Q-U調査をモデル校で実施する。また、特別支援教育などの専門家を教育アドバイザーとして委嘱し、効果的な取組や指導方法について教員が学び、いじめや不登校の無い落ち着いた学級運営及び児童生徒の学力向上を図る。
射水っ子音楽活動推進事業	5,036	専門家の演奏技能の指導により、児童生徒の音楽活動の向上と地域社会に貢献する心豊かな射水っ子の育成を図る。
チーム・ティーチング指導員配置事業	20,713	数学や英語の授業を中心に、教科担任一人による一斉授業ではなく、チーム・ティーチング指導員を配置することで、きめ細かい学習指導に基づく、基礎学力の定着と生徒の学習意欲の向上を図る。各中学校に1～2名を配置する。
学習サポーター配置事業	48,063	特別に配慮を要する児童生徒の学校生活を支援するため、小・中学校に40名を配置する。

事業名	予算額 (千円)	摘要 (内容・進捗状況・その他)
小杉中学校体育館屋根改修 (新規)	47,500	体育館屋根改修工事を行う。
大門中学校整備事業 (新規)	55,000	校舎棟・体育館棟大規模改造 (長寿命化改良) 工事実施設計業務委託を行う。
片口小学校整備事業 (繰越)	128,350	特別教室棟大規模改造工事を行う。
塚原小学校整備事業 (繰越)	56,504	グラウンド改修工事を行う。
歌の森小学校整備事業 (繰越)	471,774	校舎棟大規模改造第 I 期工事 (普通教室棟) を行う。
大島小学校整備事業 (繰越)	94,217	グラウンド改修工事 (忠魂碑移設を含む。) を行う。
射北中学校整備事業 (繰越)	150,030	グラウンド改修工事 (プール解体、テニスコート、部室整備を含む。) を行う。
小杉南中学校整備事業 (繰越)	529,500	校舎棟大規模改造第 I 期工事 (特別教室棟、管理棟) を行う。

生涯学習・スポーツ課 主要事業

事業名	予算額(千円)	摘要(箇所・説明・進捗状況・その他)
放課後子ども教室推進事業	6,076	放課後に小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、学習やスポーツ、文化活動を行う。
土曜学習推進事業	512	子どもたちの豊かで有意義な土曜日を実現するために、地域などの協力を得て様々な体験活動を行う。
児童健全育成事業	90,075	保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、家庭に代わる生活の場として放課後児童クラブを開設し、適切な遊びや指導を行うことで児童の健全育成を図るとともに、保護者の子育てと仕事の両立支援を行う。
家庭教育力向上支援事業	233	家庭教育力の向上を目指して家庭教育支援講座やじいちゃんばあちゃんの孫育て談義等を実施し、地域における家庭教育支援活動を行う。 また、家庭教育を担うアドバイザーの後継者不足が顕著なことから、家庭教育アドバイザー養成講座を継続して実施する。
生涯学習活動事業	7,290	幅広い世代間での交流や学習等、地域の実情に応じた学級・講座開設を27地域振興会に委託し、地域の主体的取組を支援する。
成人式事業	2,007	新成人の新しい門出を祝福するとともに、社会人としての自覚を促すよう激励する。
文化財保存事業	17,224	文化財の保護・継承及び活用を図る。 ・曳山、指定文化財の保存修理助成 ・射水の築山・曳山行事調査事業
埋蔵文化財調査事業	13,850	市内の埋蔵文化財包蔵地における各種開発事業と埋蔵文化財の保護措置との調整を図る。 ・各種開発に先立つ試掘調査及び本発掘調査の実施
富山マラソン2017開催事業負担	5,000	新湊大橋を通過するコースとする高岡・富山間のフルマラソン大会の開催を支援し、本市を海と大地の恵み射水市エリアとして全国に発信する。
スポーツひのまるキッズ北信越小学生柔道大会開催事業	900	射水市のスポーツを象徴する競技のひとつである少年柔道の発展と大会を通じての相互の交流、親睦を図り、県内外から参加する選手を始めとする関係者に射水市をPRするため、開催を支援する。

事業名	予算額(千円)	摘要(箇所・説明・進捗状況・その他)
全日本実業柔道団体対抗大会開催事業	500	日本柔道界を代表する選手が所属する団体の日本一を目指して技を競い合う実業団最大の大会であり、柔道競技のトップアスリートの試合観戦がもたらす様々な効果に期待し、全国からの参加者に本市の魅力に触れていただけるようPRするため、開催を支援する。
タモリカップ2017開催事業	500	日本一楽しいと言われるヨットレースであるタモリカップの全国からの参加者に本市の魅力に触れていただく機会を増やすため、開催を支援する。
富山湾岸サイクリング2017開催事業	200	美しい富山湾の景観を楽しむ湾岸サイクリングコースで開催される大会を支援し、休憩所において本市ならではの食を提供するなど、本市の魅力を広く発信する。
スポーツ強化育成事業	3,575	競技団体を支援し競技力向上を図るとともに、全国大会等に出場する選手に激励金を交付し、競技力の向上に努める。
堀岡緑地野球場・テニスコート夜間照明撤去工事	11,500	老朽化に伴い廃止施設を撤去する。
保育園・幼稚園運動能力向上支援事業 (からだ育て教室)	164	幼児の体力向上を支援するため、公私立保育園・幼稚園に講師を派遣する。

射水市図書館 主要事業

事業名	予算額(千円)	摘要(箇所・説明・進捗状況・その他)
図書館活動推進事業	14,830	「学びの環境」として多様な生涯学習活動に応えるため、資料情報を計画的に収集し、市内全図書館連携のもと、図書館蔵書等資料の一層の充実に努める。

新湊博物館 主要事業

事業名	予算額(千円)	摘要(箇所・説明・進捗状況・その他)
新湊博物館企画展事業	4,455	企画展の開催 ・追悼展 郷倉和子 80年の歩み ・贈りもの ・射水百景 ・館蔵品展
建物の長寿命化工事	89,300	機器の更新

市民みんなで取り組む「射水市を担う たくましい人材の育成」

自尊感情を高める ふるさとへの愛着と誇りを育む

<家庭で育む>

- 家庭教育支援講座の開催 2→3回
- 家庭教育アドバイザーの養成 36+9(新規)(H28)
- じいちゃんばあちゃんの孫育て談義の開催
- 孫とおでかけ支援事業(6市連携)

- 「家族一緒に
食事 おしゃべり お手伝い」運動の推進
- 普及啓発用リーフレット作成配布・活用
 - ★○射水JC他諸団体との連携
 - 「あったか家族の集うまちづくり」
 - 「食事・おしゃべり・お手伝い」普及・啓発
 - 市長部局との連携
 - 周知・広報、市広報誌 への掲載

<学校で鍛える>

- 「授業力向上射水市トライアル3点セット」の普及・啓発・推進
- 「射水スタンダード 授業のABC」(H29改訂)
 - 「授業研究・協議ステージアップ」(H30改訂)
 - ★○「授業力向上のちょいテク」(H31改訂)

- きめ細かな相談体制の充実
- SSW・★外国人相談員・教育相談員の市単独配置
 - 射水マイサポーター制の導入
 - 気がかりポストの市内全校配置
 - 教育アドバイザーの委嘱
(児童理解、集団づくり、発達医療)

- ふるさと(射水市)体験学習の展開
- 中学生提案型ふるさと応援事業
ハートフルコンサート
 - ★ネット対策
 - ★庁舎4階ギャラリーの展示 他
 - ★○子ども議会体験プログラム(小学生)

<地域で磨く>

- 放課後子供教室、土曜学習の推進
- 放課後児童クラブと学校との連携・情報共有の日常化促進
- ▲「地域で育もう！学び貯金通帳」を活用した生涯学習の推進
- ▲「コミュセン ○○学び塾」の立ち上げ
- ※地域振興文化課連携
- ・学習活動・英語活動 ・自由勉強(小学校宿題認定)
- ・自然体験活動
- ・ふるさと(地域)体験活動
- ・地域ふれあい活動
- ・スポレク・伝承遊び 他

- <現状の課題として>
- ・地域ふるさと教育の拠点化
 - ・公共施設利用者世代の拡大 距離感の解消
 - ・地域世代間交流の機会の提供
 - ・貧困世帯の教育支援

<教育活動の支援拡充>

いじめ・不登校ゼロ対策の充実

教職員の多忙化解消

★ いみず鳳雛きらめき塾

「射水サクラマス飼育体験交流」の推進

小・中学校の特色ある活動紹介(報道)窓口の一本

★小・中学生学び応援塾

★ICTを活用した不登校児童生徒に対する支援実証事業

学校教育施設の整備

就学援助の充実

射水ジュニアアスリート育成総合プランの推進

◇他部局との連携

- ・0歳から15歳まで切れ目のない子育て支援⇄ 幼保小連携連絡カードの一本化
- ・「コミュセン ○○学び塾」立ち上げ(再掲)※地振課
- ・「射水サクラマス飼育体験交流」「生徒の提言」等事業化
- ※港湾・観光課、農林水産課、管財契約課 他

小・中学校児童生徒(見込)数について

小学校児童(見込)数(H28はH28年5月1日時点、H29はH29年4月1日時点の見込み、H30以降は推計値)
 (下段はH28を基準とした増減を表示)

学校名	H28		H29		H30		H31		H32		H33		H34		H35	
	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数
放生津小	6 (1)	183	6 (1)	166	6	161	6	149	6	143	6	126	6	123	6	122
	—	—	0	-17	0	-22	0	-34	0	-40	0	-57	0	-60	0	-61
新湊小	12 (2)	303	12 (2)	299	12	289	12	267	10	246	8	230	7	214	7	203
	—	—	0	-4	0	-14	0	-36	-2	-57	-4	-73	-5	-89	-5	-100
作道小	11 (2)	302	11 (2)	292	11	315	12	342	12	346	12	358	12	352	12	373
	—	—	0	-10	0	13	1	40	1	44	1	56	1	50	1	71
片口小	10 (2)	250	10 (2)	239	9	237	9	229	8	209	7	206	8	214	8	208
	—	—	0	-11	-1	-13	-1	-21	-2	-41	-3	-44	-2	-36	-2	-42
堀岡小	6 (0)	143	6 (0)	131	6	136	6	139	6	137	6	129	6	127	6	136
	—	—	0	-12	0	-7	0	-4	0	-6	0	-14	0	-16	0	-7
東明小	12 (2)	330	12 (2)	313	12	290	12	285	11	283	11	273	11	273	11	263
	—	—	0	-17	0	-40	0	-45	-1	-47	-1	-57	-1	-57	-1	-67
塚原小	6 (1)	153	6 (1)	158	6	155	6	140	6	142	6	137	6	124	6	123
	—	—	0	5	0	2	0	-13	0	-11	0	-16	0	-29	0	-30
小杉小	19 (2)	596	18 (2)	584	17	569	17	572	18	578	20	612	20	617	19	628
	—	—	-1	-12	-2	-27	-2	-24	-1	-18	1	16	1	21	0	32
金山小	6 (1)	60	6 (1)	58	6	63	6	64	6	66	6	62	6	59	5	57
	—	—	0	-2	0	3	0	4	0	6	0	2	0	-1	-1	-3
歌の森小	12 (2)	427	13 (2)	426	13	425	12	423	13	427	13	433	14	438	15	436
	—	—	1	-1	1	-2	0	-4	1	0	1	6	2	11	3	9
太閤山小	14 (3)	443	14 (3)	431	12	398	12	386	12	370	12	355	12	354	12	342
	—	—	0	-12	-2	-45	-2	-57	-2	-73	-2	-88	-2	-89	-2	-101
中太閤山小	12 (2)	340	12 (2)	345	12	318	12	328	11	337	11	326	11	322	11	300
	—	—	0	5	0	-22	0	-12	-1	-3	-1	-14	-1	-18	-1	-40
大門小	24 (4)	861	24 (4)	821	23	794	22	751	21	704	19	656	18	605	18	566
	—	—	0	-40	-1	-67	-2	-110	-3	-157	-5	-205	-6	-256	-6	-295
大島小	21 (2)	715	21 (3)	708	20	699	19	675	19	650	19	628	19	625	20	618
	—	—	0	-7	-1	-16	-2	-40	-2	-65	-2	-87	-2	-90	-1	-97
下村小	6 (0)	89	6 (0)	84	6	85	6	85	6	77	6	72	6	68	6	63
	—	—	0	-5	0	-4	0	-4	0	-12	0	-17	0	-21	0	-26
合 計	177 (26)	5,195	177 (27)	5,055	171	4,934	169	4,835	165	4,715	162	4,603	162	4,515	162	4,438
	—	—	0	-140	-6	-261	-8	-360	-12	-480	-15	-592	-15	-680	-15	-757

※H28、H29学級数の()内は特別支援学級数(外数)

※H30からは特別支援学級の変動が不明なため、普通学級数のみを表示

※H30以降の学級数は、第1、2学年を35人学級、第3、4、5、6学年を40人学級で計算

中学校生徒(見込)数(H28はH28年5月1日時点、H29はH29年4月1日時点の見込み、H30以降は推計値)
 (下段はH28を基準とした増減を表示)

学校名	H28		H29		H30		H31		H32		H33		H34		H35	
	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数
新湊中	9 (2)	283	9 (2)	267	9	259	9	252	9	251	8	249	8	240	7	222
	—	—	0	-16	0	-24	0	-31	0	-32	-1	-34	-1	-43	-2	-61
新湊南部中	7 (0)	225	6 (2)	218	7	216	6	210	7	217	7	224	7	250	7	244
	—	—	-1	-7	0	-9	-1	-15	0	-8	0	-1	0	25	0	19
射北中	11 (3)	376	11 (2)	361	12	379	12	391	12	389	11	385	11	355	10	326
	—	—	0	-15	1	3	1	15	1	13	0	9	0	-21	-1	-50
小杉中	19 (3)	740	19 (2)	723	19	691	20	671	20	689	18	651	19	664	19	641
	—	—	0	-17	0	-49	1	-69	1	-51	-1	-89	0	-76	0	-99
小杉南中	11 (2)	362	11 (2)	345	10	336	10	333	9	329	9	307	10	309	10	313
	—	—	0	-17	-1	-26	-1	-29	-2	-33	-2	-55	-1	-53	-1	-49
大門中	23 (2)	796	21 (3)	775	21	762	21	780	22	797	23	814	23	793	21	735
	—	—	-2	-21	-2	-34	-2	-16	-1	1	0	18	0	-3	-2	-61
合計	80 (12)	2,782	77 (13)	2,689	78	2,643	78	2,637	79	2,672	76	2,630	78	2,611	74	2,481
	—	—	-3	-93	-2	-139	-2	-145	-1	-110	-4	-152	-2	-171	-6	-301

※H28、H29学級数の()内は特別支援学級数(外数)

※H30からは特別支援学級の変動が不明なため、普通学級数のみを表示

※H30以降の学級数は、第1学年を35人学級、第2、3学年を40人学級で計算

平成29年度 射水市教育センター事業計画

1. 調査研究事業

研究名	内 容	調査研究員	実施回数・会場
小中連携教材作成委員会	小学校6年間で身に付けさせるべき基礎的な学習内容に関わる教材の研究 (新入生テストの作成)	・小学校教頭4名 (各教科1名) ・小学校教諭8名 (各教科2名) ・中学校教諭8名 (各教科2名)	半日3回 布目分庁舎別館
外国語活動・英語科の連携に関する調査研究 変更	外国語活動・英語科の指導の連携に関する研究 ～イングリッシュ体験学習事業を活用して～	・小学校教諭5名 ・中学校教諭3名 ・養護教諭1名	半日4回 布目分庁舎別館
社会科副読本改訂に関する調査研究 新規	小学校社会科副読本の改訂に向けての調査研究	・小学校教諭4名	半日6回 布目分庁舎別館
学習指導要領改訂に伴う小学校英語教育に関する調査研究 新規	学習指導要領改訂に伴う小学校英語教育実施上の課題に関する調査研究	・小学校校長1名 ・小学校教諭5名	半日3回 布目分庁舎別館
学習指導要領改訂に伴う通知表に関する調査研究 新規	学習指導要領改訂および、道徳の特別教科化に伴う通知表の在り方に関する調査研究	・小学校校長1名 ・小学校教頭1名 ・小中教務主任各1名 ・ソフト開発者1名	半日3回 布目分庁舎別館

2. 教職員研修事業

研修名	講 師	研修内容	対 象	実施予定日・会場
学級集団づくり研修会 変更	東京福祉大学 教授 筑波大学 名誉教授 田上 不二夫 氏	対人関係づくりを活用した学び合いのできる温かい学級集団づくりについて学ぶ。	・希望者 (各校2名まで)	5月2日(火) 13:30～16:30 布目分庁舎別館
新規採用教員研修会	射水市教育センター 教育相談員 東 美津子 氏	ストレスとのつきあい方やリラクゼーションの手法について学ぶ。 Q-Uの基礎的な内容を理解し学級経営に生かす。	・新採教諭および 新採養護教諭 (悉皆)	5月9日(火) 13:30～16:30 布目分庁舎別館
小中連携学力向上研修会 変更	金沢工業大学 教授 白木 みどり 氏	小中連携で進める道徳教育について学ぶ。 ～道徳の教科化をむかえて～	・小中学校教員 (各校2～3名)	7月25日(火) 13:30～16:00 大門小学校 ランチルーム

射水市内 地域巡り 研修会	各施設の担当者	射水市の歴史・文化・産業等の理解を深めるため現地を見学する。	・小中学校新規採用教員(悉皆) ・他市からの異動教諭等希望者	7月28日(金) 8:30~12:00 射水市内各施設
中学校 若手教員 (教科指導)研修会 変更	・西部教育事務所指導主事 ・マスター教員 ・指導教員	分かる授業の進め方について学ぶ。 参加者は、各校で9~11月中に授業実践を行う。 【音楽・美術・保体・技家】	・2年次以上5年次以下教諭	8月7日(月) 9:00~12:00 布目分庁舎別館 ----- 12月27日(水) 13:30~16:30 布目分庁舎別館
		分かる授業の進め方について学ぶ。 参加者は、各校で9~11月中に授業実践を行う。 【国語・数学・英語】	・2年次以上5年次以下教諭	8月8日(火) 9:00~12:00 布目分庁舎別館 ----- 12月27日(水) 9:00~12:00 布目分庁舎別館
		分かる授業の進め方について学ぶ。 参加者は、各校で9~11月中に授業実践を行う。 【社会・理科】	・2年次以上5年次以下教諭	8月8日(火) 13:30~16:30 布目分庁舎別館 ----- 12月27日(水) 13:30~16:30 布目分庁舎別館
小学校 若手教員 (教科指導)研修会 変更	・西部教育事務所指導主事 ・マスター教員 ・指導教員	【国語】の指導技術について学ぶ。 参加者は、各校で9~11月中に授業実践を行う。	・2年次以上5年次以下教諭 (28年度算数参加者は、29年度国語で参加)	8月3日(木) 9:00~12:00 布目分庁舎別館 ----- 12月26日(火) 9:00~12:00 布目分庁舎別館
		【算数】の指導技術について学ぶ。 参加者は、各校で9~11月中に授業実践を行う。	・2年次以上5年次以下教諭 (28年度国語参加者は、29年度算数で参加)	8月3日(木) 13:30~16:30 布目分庁舎別館 ----- 12月26日(火) 13:30~16:30 布目分庁舎別館
特別支援 教育研修会	・県総合教育センター教育相談部主任研究主事 ・マスター教員	発達障害等の障害のある児童生徒に対しての適切な援助について学ぶ。	・各小中学校特別支援コーディネーター(悉皆) ・特別支援学級担任 ・希望者	8月25日(金) 9:00~12:00 布目分庁舎別館

※ 教育講演会は、3年に1回実施。次回は平成31年度を予定

3. 射水スタンダード（～授業のABC～）委員会

射水市の小中学校教員の授業の基本形、指導のポイントを明らかにし、共通実践により学力向上に資する。小中学校各校1名以上の委員が校内での推進を図り、より効果的な内容になるよう随時検討を行う。

4. 射水市マイスター教員事業 **拡充**

- 高い専門性と実践的指導力を有し、児童生徒に優れた教育活動を実践している教員を「マイスター教員」に認定し、その実践的指導力を広く市内の教員に伝授する。
- 「マイスター教員(教科)」は、年2回以上市内教員に授業を公開する。公開授業のうち1回は学校訪問の公開授業と兼ねてもよい。もう1回の公開授業は、できる限り6限目の授業とし、その後、引き続き参観者を囲んだ協議会(30分程度)を行う。
- 5年次以下教員は、年1回以上、マイスター教員の授業を参観する。6限目の授業を参観した場合は、協議会にも参加する。また、授業参観や協議会后に、感想や学んだこと等を授業者に伝える。(紙媒体、コラボ、メール等)
- 「マイスター教員(教科)」は、センターの研修会の指導教員として参加する。
- 「マイスター教員(特別支援)」は、特別支援教育研修会の推進リーダーを務める。また随時、各校の要請や実態に応じて指導に携わる役割を担う。
- 「マイスター教員(ICT)」は、教科の学習目標を達成するためと情報活用能力を育成するためのICT活用に資する情報収集と提供を行う。(ICT活用の手引き改訂)

5. 豊かな人間関係づくり支援事業

- 教育アドバイザーの支援を受けながら、児童生徒の豊かな人間関係を構築するための指導を充実させ、いじめや不登校の予防対策とする。
- 嘉義陽子教育アドバイザー(特別支援)、水上和夫教育アドバイザー(学級づくり)等に指導・支援を要請し、各校への連絡・調整をセンターで行う。
- 29年度は、新湊中学校区(新湊中、放生津小、新湊小)、大門中学校区(大門中、大門小、大島小)、その他の緊急支援を要する学校において重点的な支援を行う。

6. 学力向上市町村教育委員会プラン研究委託事業

「とやま型学力向上プログラム」を踏まえ「確かな学力」の育成のための実践研究を行う拠点校の取組に対して支援し成果の普及を図る。
29年度は射北中学校区(射北中、片口小、堀岡小、東明小)で実践を行う。

7. 不登校児童生徒に対する支援実証事業 **新規**

教室外登校のできる不登校傾向の児童生徒を対象とし、タブレットPC等を使用した自学自習(小学生)や授業中継(中学生)を行う。学習内容が「わかる」ことによる自信を醸成し、出席日数の増加を目指す。
29年度は太閤山小学校、小杉中学校、大門中学校で実践を行う。

8. 小学生学び応援塾 新規

小学校中学年児童を対象に、放課後補充学習に対する支援を行い、基礎学力の定着を図る。29年度は、作道小、小杉小、大島小、大門小を対象校として学習支援を行う。学習支援は、教育センター嘱託職員1名、教育センター臨時職員1名、支援員3名で行う。

9. イングリッシュ体験学習事業 変更

市内の小中学生を対象に、ALT等との交流活動を行い、英語に対する興味・関心や実践的な英語コミュニケーション能力を高めるとともに、異文化理解を深める。29年度は、新湊総合体育館を会場に、8月下旬、参加人数60名程度（小42名、中18名）、日帰りで実施する。

10. 教育相談

活動名	内 容	担 当	実施回数
来所相談	問題を抱える保護者・教師・児童生徒に対して専門の相談員が相談に応じる。	教育相談員1名	火・木曜日 13:00～17:00
電話相談	電話相談（場合によっては来所相談）に随時応じる。学校からの要請により、学校を訪問し相談に応じる。	教育相談員 教育センター所員	月～金曜日 9:00～17:00

11. スクールソーシャルワーカー活用事業

訪問活動	不登校、いじめ、暴力行為、児童虐待等の状況、児童生徒の心の問題、児童生徒がおかれた経済面や健康面を含めた家庭の問題等のうち、学校だけでは対応が困難なものに対して、家庭環境等の改善に向けて関係機関と連携して働きかけ、児童生徒や保護者の支援を行う。	スクールソーシャルワーカー 県3名 県市1名 市7名 市・県巡回1名	随時 ケース会議
------	--	--	-------------

12. 適応指導教室

活動名	内 容	備 考
集団適応支援	不登校児童生徒に対して、必要に応じた学習支援等を行い、集団適応につながる環境を整える。	月～金曜日 8:30～17:00
教育相談	児童生徒、保護者や学校からの教育相談に応じる。	月～金曜日 9:00～17:00

13. その他の事業

事業名	内 容	備 考
射水市科学展覧会	<ul style="list-style-type: none"> ・市科学展覧会の運営、展示、表彰等 ・優秀作品集の作成 ・県科学展覧会との連絡・調整、搬入・搬出等 	会場：アルビス小体育文化センター 搬入・審査 9月15日(金) 公開 9月16日(土)～17日(日) 搬出 9月19日(火)
射水市教育研究論文等募集	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究論文等の募集 ・審査、表彰等 	応募票提出 1月5日(金) 論文等提出 1月10日(水) 表彰式 2月23日(金)
ふるさと学習推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープ整備等の支援 	
教材・資料・教具の紹介、提供、貸与	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を効果的に行うための教材・資料・教具等の紹介、提供、貸与等 ・地域人材情報、地域教材資料の提供 	
情報収集・集約、情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故、問題行動、不審者情報 ・射水警察署との連携 ・ネットパトロールからの連絡 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・蚕種の斡旋 	

14. 射水市生徒指導協議会

内 容	実施日	講師等
全体研修会 第1回生徒指導研修会	4月25日(火)	役員・事業案承認、部会協議 講師：射水警察署生活安全課長 中学校生徒指導主事研修会
第2回生徒指導研修会	6月22日(木)	講師：西部教育事務所指導主事 部会研修(中学校区情報交換)
第3回生徒指導研修会	9月14日(木)	教師のためのDV防止啓発講座 講師：(公財)県女性財団派遣講師 部会研修(中学校区情報交換)
第4回生徒指導研修会	11月22日(水)	講師：射水警察署少年補導員 部会研修(中学校区情報交換)
第5回生徒指導研修会	2月15日(木)	講師：西部教育事務所主任生活指導主事 中学校生徒指導主事研修会

授業力向上 射水トライアル3点セット



その1

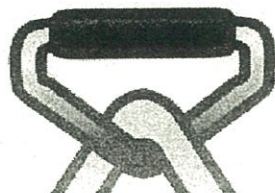
射水スタンダード～授業のABC～

- ・射水市の授業の基本型、指導ポイントを当たり前
に共通実践しよう。

補助資料 自尊感情を育む「本時の課題」設定
子供が学習の成果、教師が指導の成果を実感できる
ように工夫しよう。



レッツ
トライ!



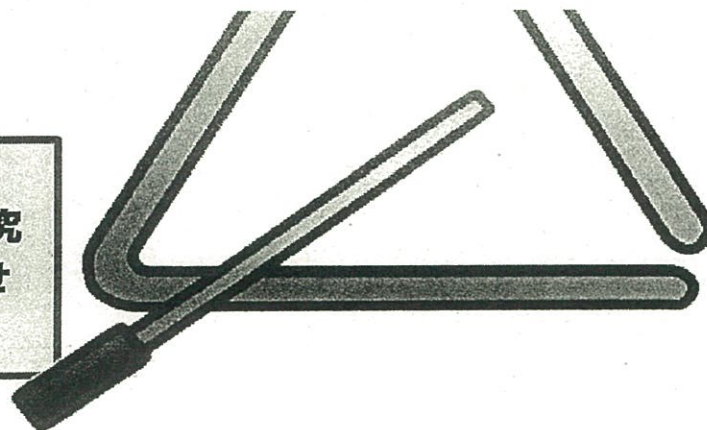
射水市教師の授業力向上→児童 生徒一人一人の学力向上→自尊感情の高まり



その2

授業研究協議ステージアップ

- ・学び合い、高め合える授業研究
を目指し、自らの授業に生かせる
ようにしよう。



その3

先輩教師からの贈り物 授業力向上のちょいテク

- ・射水市マイスター教員や先輩教師
が実践する指導技術を吸収しよう。

射水スタンダード ～授業のABC～ 【小学校】

1 授業の開始と終了時刻を守っている。

- ・子供たちは、時間を意識して学習活動に取り組むことができます。
- ・オンとオフをしっかりと切り替え、メリハリをつけることで、授業に集中することができます。
- ・休み時間を確保することで、新鮮な気持ちになり、やる気につながります。

2 学習課題を黒板に明示している。

- ・身に付けさせたい力（ゴールの姿）を教師自身が明確にして授業を構想することができます。
- ・提示する際には、学習の流れや子供の思考に沿っているのか、再確認することができます。
- ・子供たちは、見通しをもって学習に臨むことができます。
- ・学習課題に応じた適切な振り返りやまとめ方を選考することができます。

3 チョークの色を使い分けている。

- ・「白」チョークを基本にし、「黄」はポイントやキーワード、「赤」は囲みやアンダーライン等、補助的に使います。
- ・チョークの色を使い分けることは、子供の思考を整理したり深めたりするのに有効です。

4 振り返りの場を設定している。（終末）

- ・1時間の時間配分を考えて授業を行うことができます。
- ・振り返りの方法は、感想を書く、分かったことや友達から学んだことを自分の言葉でまとめる、確認問題を解くなど、いろいろな方法があります。それらを工夫することで、自らの学びが実感でき、学習内容の定着が図られます。
- ・子供自身が自らの成長や変容を実感する場となり、学習意欲が高まります。

5 積極的にほめている、認めている。

- ・子供たちの自己肯定感が高まります。
- ・子供たちのよいところが、どんどん見えてきます。
- ・子供たちのよい芽がぐんぐん伸びます。
- ・子供たちに自信が付き、学習意欲が高まります。

射水スタンダード ～授業のABC～ 【中学校】

① いち時間の流れを明確に

- 授業の開始、終了時刻を守っていますか
- 1時間の授業の課題を示していますか
- 生徒が主体的に活動する時間はありますか
- 授業の終末にまとめ・振り返りの場面がありますか

② みじかい文ですっきり・はっきり

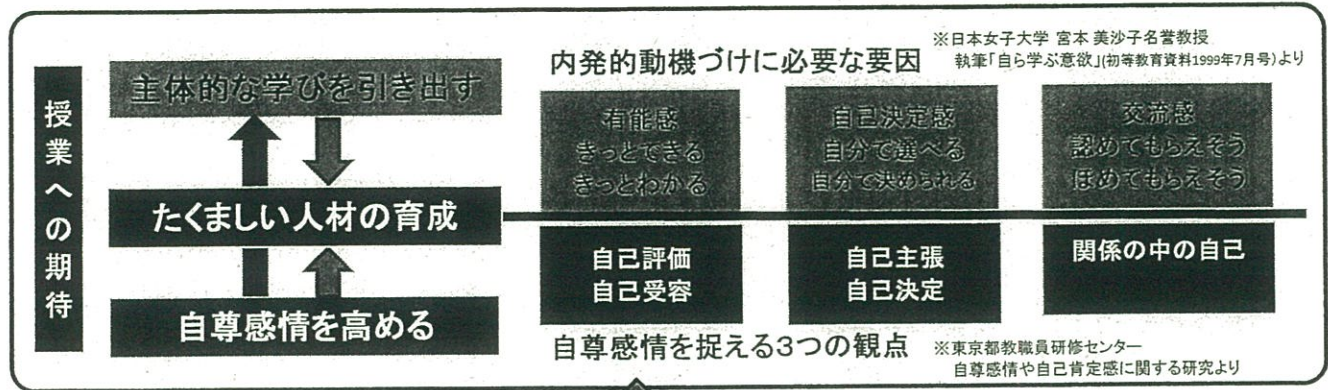
- 一時に一事の指示・説明をしていますか
- 一文を短く話していますか

タイミングを見逃さず

- 生徒の私語をなくす手立てをとっていますか
- 活動できない生徒に対する手立てをとっていますか

自尊感情は、主体的学びの原動力

自尊感情を育む「本時の課題」設定



学習成果の実感の積み重ね **がんばったら** できた おもしろかった 認めてもらえた

目指す「学習課題」とは？ キーワード①「見通し」 キーワード②「ゴールの姿」

射水スタンダード～授業のABCには、しっかりとポイントがおさえられています

- | | |
|---|--|
| <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 学習課題を黒板に明示している ・ (ゴールの姿) を教師自身が明確にして… ・ 子供たちは、見通しをもって学習に臨む… <input type="checkbox"/> 振り返りの場を設定している ・ 子供自身が自らの成長や変容を実感する場… | <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> ① 時間の流れを明確に <input type="checkbox"/> 1時間の授業の課題を示していますか <input type="checkbox"/> 振り返りの場面がありますか |
|---|--|

自らの成長や変容を実感できる課題設定

目指す課題表現

①学習の見通し

本時の展開での活動を具体的にイメージできる表現

できそう

②ゴールの姿

本時の終末の姿を具体的にイメージできる表現

おもしろそう

認めてもらえそう

見直してみませんか キーワード③「語尾に着目」

③語尾に着目

成果の実感があいまいになる懸念がある語尾は、再考を！

【例①】.「～だろうか」「～は、いくつになるでしょうか」などの問いの提示や発問と変わらない表現は、成果が実感づらい

【例②】.「～考えよう」

等、行動目標が
つかみづらい
表現

「考えて、
+
「考えたことを

- ～(に)まとめよう
- ～(と)比べよう
- ～仲間分けしよう
- ～(に)説明しよう
- ～(もとに)解こう
- ～(を)導きだそう
- ～(を)選び(見付け)だそう



「本時の学習課題」は、児童生徒が学習の成果を、教師が指導の成果をそれぞれ実感できる可視的な具体的行動として書き表わすように工夫していきましょう。

授業研究協議ステージアップ（発言の高まり）

平成 29 年度版



ステージ 1

授業の印象や感想を述べる

発言例

- ・ 子供の話を聞く態度がよかった。
- ・ 子供がしっかり話を聞いてよかった。
- ・ グループの話し合いが活発でよかった。
- ・ 板書がすっきりまとまっていた。
- ・ ノートをきれいに書いていた。



ステージ 2

目に見える子供の姿や教師の手立てを述べる
(事実を述べる)



〈子供〉

個

発言例

- ・ ○さんは△△という活動(発言)をしていたのが印象(感想)に残った。

集団

発言例

- ・ ○グループは、□□という活動(発言)をしていたのが印象(感想)に残った。

子供の観察の観点

- ・ 活動…どんな動きをしたか
- ・ ノート…何を記録したか
どんな考えを書いたか
- ・ 友達との関わり…誰と何を話したか
- ・ 発言…何を述べたか
- ・ つぶやき…いつ、どんな、誰に
- ・ 表情…表情の変化の有無
- ・ ものとの関わり…事物現象、表現、作品などにどんな働きかけをしたか

〈教師〉



発言例

- ・ 教師は、○○の時に(いつ)、みんなに(誰に)、△△という手立て(方法)を行っていたのがよかった(感想)と思う。

教師の手立て観察の観点

- ・ 発問(発言)…どのような発問(または補助発問)をしたか
- ・ 問い返し…誰のどのような意見にどのように問い返したか
- ・ 指名…意図的指名か、どの意見の後に指名したか
- ・ 板書…いつ、どこに、どのように、配色、字の大きさ、掲示物、構成
- ・ 教材提示…どのタイミングで何を
- ・ 学習形態…全体、グループ、ペア、個人 友達訪問、いつ
- ・ 表情…身振り手振り、立ち位置、声の調子、視線、目配せ、腕組み、姿勢

ステージ 3

★教師のどんな手立てが、子供の変容に有効であったかについて述べる

★ねらいを達成するための教材の扱い方が適切だったかを述べる(教材研究)



〈子供〉

- ・ 子供の変容を(変容の瞬間を捉えて)述べる
- ・ つぶやき(えっ?等)
- ・ 表情(納得、困惑等)
- ・ 行動(挙手の勢い等)
- ・ 発言(強い口調等)
- ・ ノート(内容、書く勢い等)
- ・ 友達への関わり(進んで自ら関わる等)
- ・ 物への関わり(新しい方法を試す等)

発言例

- ・ ○○さんは、△△という活動(意見)をしていたが、□□という活動(意見)に変わった。
- ・ 子供たちの考えが変わったのは教師の○○の手立てがあったからだ。

発言例

- ・ 単元の全体計画が適切であったか。
- ・ ○○を提示したことは、△△の力を付ける上で有効だった。

〈教師〉



- ・ 子供の変容を促した教師の手立てを述べる
- ・ 発問(発言)・問い返し
- ・ 指名・板書・教材提示
- ・ 学習形態・表情(笑顔 口調・視線等)

発言例

- ・ 教師が○○の時(いつ)△△さん(誰)に□□という手立て(方法)を行ったとき、子供が変わった。

教科のねらいと授業での教材の扱い方との関連について述べる

- ・ 本時の学習課題は適切だったか
- ・ 教材の扱いは正しかったか、子供の実態に合っていたか。

ステージ 4

本時の授業の視点や授業改善のために一般化できるように述べる

本授業をよりよくするための「代案」について話し合う。

発言例

- ・ こんなやり方はどうか?
- ・ もっと○○したら子供はよく考える(動く)のではないか。

本授業を観て、自分の日々の授業でどう生かせるか話す。

発言例

- ・ ~の手立ては○○教科でも生かせる。
- ・ ○年生では△△が有効だったが、○年生では△△したほうが有効だ。

協議会 最後の発言例

【授業者】今日の協議内容から○○がわかりました。今後、△△に気を付け、○○な授業を目指したい。

【参観者】今日の協議会で○○を学びました。今後、△△に気を付け、○○な授業を目指したい。



先輩教師からの贈り物

授業力向上のちょいテク

～個を伸ばし、集団を生きる教師の手立て～

指導案（指導上の配慮事項）に活用できそうだ



先輩のちょいとしたテクニックを
ちょいと活用 チョイスして活用
ちょいちょい活用！ 楽しそうだわ



平成29年度版
射水市教育センター

MEMO

授業力向上 射水トリアル 3点セット 改訂スケジュール

		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	平成36年度 (2024年度)	平成37年度 (2025年度)
射水スタンダード	授業のABC		初版実践 (H27~29)			第2版実践 (H30~32)			第3版実践 (H33~35)			
		【射水スタンダード委員会】 6月作成開始 8月試案完成 9月~試案試行 2月初版完成	【射水スタンダード委員会】 実践推進 成果と課題洗い出し 改善点の提言	【射水スタンダード委員会】 1学期 実践推進 2学期 改訂検討~作業 3学期 第2版完成							改訂検討	
課題の設定			初版実践 (H28・29)		第2版実践 (H30~32)			第3版実践 (H33~35)				
		【教務部会】 7月 暫定版提示 12月 意見徴収	【射水市教育センター】 2月 初版完成	【射水スタンダード委員会】 1・2学期 実践推進 3学期 改訂検討 第2版完成							改訂検討	
授業研究協議 ステイジアップ			初版実践 (H28~30)		第2版実践 (H31~33)			第3版実践 (H34~36)				
		【射水市教育委員会】 試案作成	【射水市教育委員会】 4月 初版完成~配布	【射水スタンダード委員会】 実践推進 成果と課題洗い出し 推進提言	【射水スタンダード委員会】 1学期 実践推進 2学期 改訂検討~作業 3学期 第2版完成						改訂検討	
先輩教師からの贈り物 ちよいテク			初版実践 (H29~31)		第2版実践 (H32~34)			第3版実践 (H35~37)				
		【射水市教育委員会】 2月 暫定版完成 3月 教務へ意見収集	【射水市教育委員会】 5月 初版完成~配布 【若手教員研修会】 実践推進 意見・スキル収集	【若手教員研修会】 実践推進 成果と課題洗い出し スキル収集	【若手教員研修会】 【マスター教員】 1学期 実践推進 2学期 改訂検討 3学期 第2版完成					改訂検討		改訂検討

※「射水スタンダード」「授業研究協議会発言ステージ」は、各校が、年度初めに市外からの転任教員及び新規採用教員分を印刷し、配布する。 ※データ保存先【all-ed→100教育センター→射水トリアル3点セット資料】

生涯学習・スポーツ課

海竜スポーツランドにおけるトレーニング機器を
使用した健康管理教室等の開設について

- 1 事業主体 公益財団法人 射水市体育協会
(海竜スポーツランド指定管理者)
- 2 事業名 トレーニング機器を使用した健康管理教室等
- 3 開設時期 平成29年5月1日
- 4 トレーニング機器の内容と配置
 - (1) 筋力トレーニングマシン 10種全10台
 - (2) 有酸素マシン 4種全13台
 - (3) 設置場所
現在のトレーニング室(ラウンジ)は狭小であり、設置予定機器の設置は困難であることから、ギャラリーをトレーニングエリアとする。
- 5 使用料(消費税等込み)
 - (1) 一般
1回券 500円、1か月券 3,800円、3か月券 8,800円
一般(プール等年間利用券併用)
1回券 350円、1か月券 2,900円、3か月券 6,100円
 - (2) 中高校生
1回券 450円、1か月券 3,500円、3か月券 7,900円
中高校生(プール等年間利用券併用)
1回券 350円、1か月券 2,900円、3か月券 6,100円
 - (3) 70歳以上
1回券 420円、1か月券 3,350円、3か月券 7,450円
70歳以上(プール等年間利用券併用)
1回券 350円、1か月券 2,900円、3か月券 6,100円

平成 29 年 6 月 の 主 な 行 事 予 定

日	曜	時間	場 所	行 事 予 定	主務・関連課	教育委員出席
1	木					
2	金	13:30	本庁舎会議室401	射水の築山・曳山行事調査指導委員会	生涯学習・スポーツ課	教育長
3	土	9:00	アルビス小杉総合体育センター	全日本実業柔道団体対抗大会	生涯学習・スポーツ課	
		17:15	射水市中央図書館	水無月コンサート	中央図書館	
4	日	9:00	アルビス小杉総合体育センター	全日本実業柔道団体対抗大会	生涯学習・スポーツ課	
5	月					
6	火					
7	水					
8	木					
9	金					
10	土					
11	日					
12	月					
13	火					
14	水	10:00	新湊農村改善センター	古文書講座(第1回)	新湊博物館	
15	木					
16	金					
17	土					
18	日					
19	月					
20	火					
21	水	10:00	新湊農村改善センター	古文書講座(第2回)	新湊博物館	
22	木					
23	金					
24	土	9:00	富山県総合体育センター	第27回富山県スポーツ少年団競技別交流大会総合開会式	生涯学習・スポーツ課	
		14:00	アイザック小杉文化ホール	平成29年度スポーツ推進委員北陸地区研修会開会式	生涯学習・スポーツ課	
25	日	9:30	各施設	平成29年度スポーツ推進委員北陸地区研修会(実技研修、事務局研修)	生涯学習・スポーツ課	
26	月					
27	火					
28	水	10:00	新湊農村改善センター	古文書講座(第3回)	新湊博物館	
29	木					
30	金					

展示等

自	至	場所	展示名	自	至	場所	展示名
4/21	6/25	新湊博物館	追悼展「郷倉和子80年のあゆみ」				
6/30	9/10	新湊博物館	贈りもの				